

事業所における自己評価結果 (公表)



公表：令和 6 年 3 月 31 日

事業所名 うんどう☆ことばの教室

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	7			
	②	職員の配置数は適切である	7		・余裕を持った人数配置になっている。	
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	7		・部屋を色分けすることで、分かりやすくなっている。	
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	7			
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	7		・ミーティングには、すべての職員が参加している。 ・活動終了後の清掃や使用した玩具や道具の消毒をしている。	振り返りについての方法等について、もう少し効果が実感できるように進めていきます。
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	6	1	・今回が初めての評価のため、今後も続けていく。 ・毎朝ミーティングの時間に支援内容や伝達事項を共有している。 ・今年度初めての評価実施なので、結果を踏まえて業務改善等を実施していく。	毎朝のミーティングの他にケース会議を開催し、療育の内容等について検討・改善していきます。
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	4	3	・今回が初めての評価。これから検討して行く。 ・開所1年目で初めての評価表を活用してのチェック評価であり、今回の結果はホームページ等で公開していく計画である。	今回の評価表を参考にして、より良い支援方法を模索し、皆さんから評価して頂ける事業所にしていきます。
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	4	3	・現段階では実施していない。	今後2年以内の実施を検討して行きます。
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	6	1		
適切な	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	7			
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	7			

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
支 援 の 提 供	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	7			令和6年度では、介護報酬改定で求められている、5領域（「健康・生活」「運動・感覚」「認知・行動」「言語・コミュニケーション」「人間関係・社会性」）を個別支援計画に反映していきます。
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	7		・個別支援計画を作成し、職員間で共有支援している。 ・HUGで記録を書くときにも気各所がすぐに確認できるようになっている。	5領域（「健康・生活」「運動・感覚」「認知・行動」「言語・コミュニケーション」「人間関係・社会性」）の支援が適切に行えるように、振り返りを行いながら、支援計画に沿った支援の実現をめざしていきます。
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	7			
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	7		・制作や運動の活動内容をその日によって、考え・活動している。 ・現在も固定化しないように工夫をしてプログラムの提供を行っているが、新たにプラスしたプログラムも検討している。 ・季節にあった内容も取り入れるように工夫していると思う。	活動プログラムの視覚化や効果的なプログラムの作成について職員全員で検討していきます。
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	7			
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	7		・朝、必ずミーティングを行っている。	特に難しい支援が必要な児童については、ケース会議等を活用して適切な支援方法を検討していきます。
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	7		・支援終了後には、その日にあった事等の振り返りを行っている。 ・夕方にも必ずミーティングを行っている。	振り返りの内容を素早く、共有する方法を検討していきます。
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	7			
	⑳	定期的にもモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	7			
	関 係 機 関 や 保 護 者	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	7		
㉒		母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	7			
㉓		（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合）地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	7			

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
有との連携関係機関や保護者との連携	②4	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	7			
	②5	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	7			
	②6	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	7		・必要に応じて連絡を取って訪問をして、見学・情報共有を行い、相互の理解を深めている。	出来るだけスムーズな移行支援が実施できるように関係機関との連携を図っていきます。
	②7	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	7		・メールや電話、訪問をすることで連携が図れていると思う。	外部研修の機会を増やしていきます。
	②8	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	7			
	②9	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	5	2		
	③0	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	7			
	③1	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	5	2		
保護者への説明責任	③2	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	7			
	③3	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	7			
	③4	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	7		・定期的ではないが、責任者が中心となって行っている。	どのような形で助言や支援内容について共有できるかを検討していきます。
	③5	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	6	1	・父母の会は結成されていない為、支援はしていない。	保護者間の連携の必要性について検討し、必要があれば保護者会の開催を行います。
	③6	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	7		・主に保護者からの相談や申し入れにこなしているが、対応している。	保護者様の悩み事等は可能な限り迅速な対応を行っていきます。また、情報の共有も行っていきます。

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
等	③7 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	6	1	・定期的な会報等の発行はしていない。	なかなか難しい問題ですが、法人の情報発信についてどんな方法があるのか検討していきます。
	③8 個人情報の取扱いに十分注意している	7			
	③9 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	7			
	④0 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	5	2	地域の方を招待して行う行事はないので、交流の機会があると良いと思った。	地域交流の必要性については認識していますので、どのような形で交流できるのかを検討していきます。
非常時等の対応	④1 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	5	2	避難訓練に加えて、救命訓練があると安心できると思いました。おう吐セットとして、おう吐の際に使う物品がまとまって準備があると対応しやすいです。 ・各マニュアルは作成済みであるが、訓練はまだ。	安全計画に沿って、整備した各種マニュアル通りに訓練を実施していきます。
	④2 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	3	4	・災害時の避難の仕方や、送迎中にどこに避難したら良いのか、また、連絡が取れない倍の対応を考えておく必要があると思った。 ・これまでの訓練や近隣消防署のアドバイス等を盛り込み、定期的に訓練する計画を立てているので実施していく。	安全計画に沿って、整備した各種マニュアル通りに訓練を実施していきます。
	④3 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	6	1	・予防接種については確認していない。	アセスメントのチェックシートの内容に予防接種の聞き取り項目を追加する方向で検討します。
	④4 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	7			
	④5 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	7		・ヒヤリハットを作成し、職員間で共有し、その都度どのようにしたら良いか話し合っている。	ヒヤリハットの気づきが多くなるように職員の認識を向上させていきます。
	④6 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	5	2	・虐待防止に関するマニュアルや委員会の設置は行っているが、研修は今後実施していく予定。	虐待防止委員会を中心にして、虐待防止についての重要性を周知し、定期的な研修開催を実施していきます。
	④7 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	5	2		

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。